

愛媛県みどりの食料システム基本計画（案）に寄せられた意見と県の考え方

愛媛県みどりの食料システム基本計画（案）について、令和8年2月13日（金曜日）から令和8年3月12日（木曜日）までの期間でパブリック・コメントを実施したところ、1人の方から1件の意見をいただきました。

計画案に対する意見と考え方は、次のとおりです。

なお、いただいた意見は、適宜集約・要約しております。

寄せられた意見と県の考え方

	寄せられた意見の要旨	県の考え方
1	<p>【7頁】6 関係機関等との連携強化 省資源・省エネルギー技術の推進にあたっては、民間も含めて幅広い分野の技術開発や関連機器・資材の普及が不可欠であるため、関係機関等との連携強化に努める。</p> <p>【提案】 国の「みどり食料システム戦略」2030年までに達成すべき中間目標（2022年6月）によると、小型農機については電動草刈り機、大型農機については自動操舵システム導入が資源・省エネルギー技術の推進にあたって利用していることが目標設定されており、その点での関係機関との連携強化が求められる。</p> <p>【理由】 国の「みどり食料システム戦略」KPI実績値（2025年12月26日）を見ると、2024年普及率の実績値は自動操舵システムが9.8%、電動草刈り機が27.7%と2030年目標値50%達成が見えて来てない。このKPIを意識して関係機関等が連携して動かないといけない。</p>	<p>【原案のとおり】 御意見いただきました省資源・省エネルギー技術の推進につきましては、電動草刈り機等、既に実用化されている機械の導入も含め、多様な取組を積極的に推進できるよう、関係機関との連携強化に努めてまいります。</p>